Panasonic®

（CF-S9シリーズのイラストです。）

取扱説明書　準備と設定ガイド

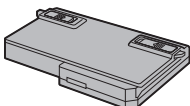
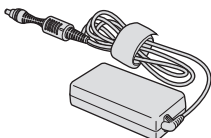
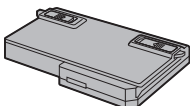
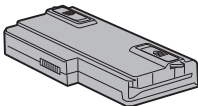
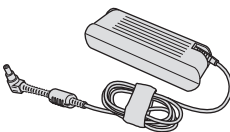
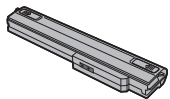
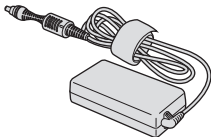
パーソナルコンピューター

品番 CF-S9/CF-N9/CF-F9/CF-J9シリーズ

（Windows 7）

初めにお読みください

本書は、お買い上げ後、初めてWindowsの操作を始めるまでの手順やリカバリーディスクの作成手順、修理を依頼する際のアフターサービス、仕様などについて説明します。
また、モデルによって異なる内容についても説明しています。
本書および『取扱説明書 基本ガイド』をよくお読みいただき、大切に保管してください。

もくじ

表記について

- 📖 は画面で見るマニュアルのマークです。
- この説明書は、CF-S9シリーズ、CF-N9シリーズ、CF-F9シリーズ、CF-J9シリーズ共用です。共通部分のイラストはCF-S9シリーズを使用しています。共通でない部分は、対象品番を表示しています。
- 本書では、「Windows® 7 Professional 32ビット 正規版（日本語版）」および「Windows® 7 Professional 64ビット 正規版（日本語版）」を「Windows」または「Windows 7」と表記します。

1 付属品の確認

付属品が足りなかったり、購入したものと異なったりした場合は、ご相談窓口にご連絡ください（➡32ページ）。

	バッテリーパック	ACアダプター	その他
CF-S9 シリーズ	品番：CF-VZSU59U（グレー） CF-VZSU60U（ブラック） CF-VZSU61U（シルバー） パソコン本体と同じ色のバッテリーパックが1つ付属しています。色以外の仕様は同じです。※1	品番：CF-AA6372B	• 電源コード※2 ・・・・・・・・ 1本 • 保証書 ・・・・・・・・ 1枚 • 取扱説明書 - 準備と設定ガイド（本書） ・・・・・・ 1冊 - 基本ガイド ・・・・・・・・ 1冊 - Windows® 7入門ガイド ・・・・・・ 1冊 - 無線 LAN接続ガイド ・・・・・・ 1冊 • 修理依頼表 ・・・・・・・・ 1枚 CF-N9/CF-J9シリーズ • リカバリーディスク（プロダクトリカバリー DVD-ROM Windows® 7 Professional）・・・・・・ 1枚 CF-J9シリーズ（取り付け方法：4ページ） • ジャケット ・・・・・・・・ 1個 • ネジ ・・・・・・・・ 1個 • フック ・・・・・・・・ 4個 ワイヤレスWAN搭載モデルのみ • 封筒 /NTT ドコモ FOMA サービス契約 本人確認書類送付用 送付書 ・・ 各1枚 • 取扱説明書 ワイヤレスWAN 接続ガイド ・・・・・・・・ 1枚 （FOMAカードは付属していません。回線の申し込みが完了すると、NTT ドコモからFOMAカードが届きます。）
CF-N9 シリーズ	品番：CF-VZSU59U		
CF-F9 シリーズ	品番：CF-VZSU56AJS	品番：CF-AA6502A	
CF-J9 シリーズ	品番：CF-VZSU67JS （バッテリーパック（S）） CF-VZSU68JS （バッテリーパック（L）） ご購入時に選択されたバッテリーパックが1つ付属しています。※1	品番：CF-AA6372B	

※1 バッテリーパックの品番は、バッテリーパック底面に記載されていますのでご確認ください。
※2 付属の電源コードは、CF-AA6372B/CF-AA6502A 以外の製品などに転用しないでください。

重 要

● 本機の包装袋のシールをはがす前に、必ず『取扱説明書 基本ガイド』の「ソフトウェア使用許諾書」をご確認ください。

CF-S9/CF-F9シリーズをお使いの場合

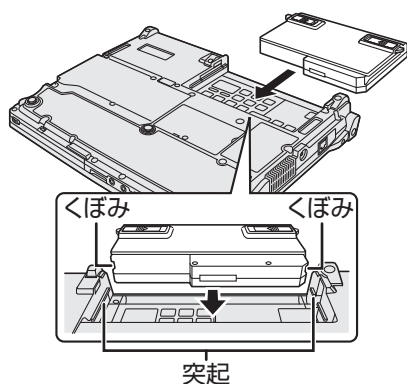
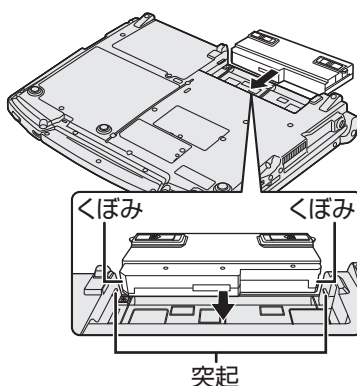
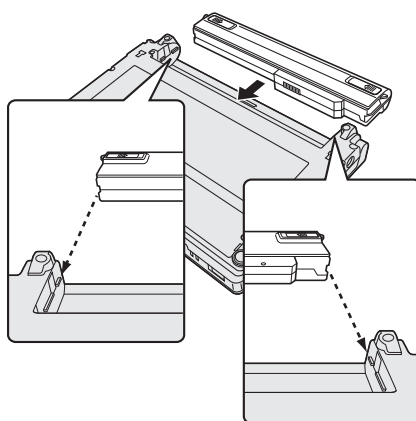
● リカバリーディスク（プロダクトリカバリー DVD-ROM Windows® 7 Professional）は付属していません。
  • 本機のハードディスクには、Windowsを再インストールするために必要なリカバリーデータを収納したリカバリー領域があります。通常は、ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って、Windowsを再インストールし、ハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。また、お買い上げ時の状態に戻すためのリカバリーディスクを作成できる「リカバリーディスク作成ユーティリティ」がインストールされています。
  リカバリーディスクの作成を希望される場合は、「6 リカバリーディスクを作成する」をご覧ください。（➡15ページ）

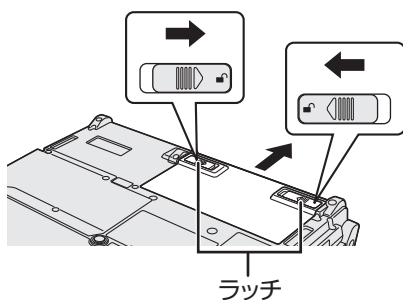
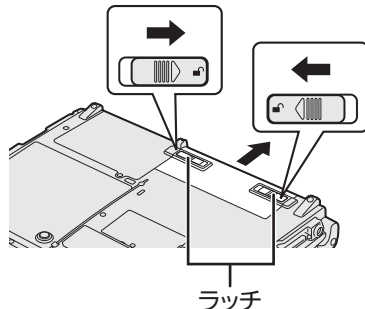
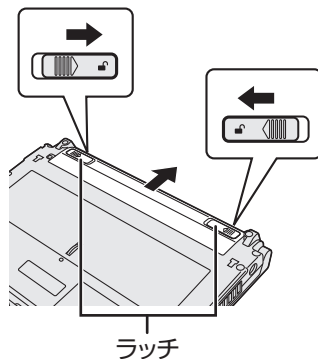
2 バッテリーパックを取り付ける

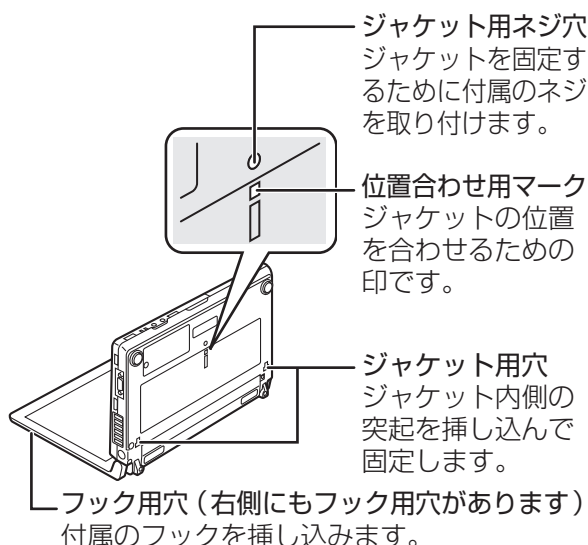
重 要

- 左右のラッチが正しくロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。
- バッテリーパックや本機のコネクター部分に触れないでください。
  汚れ、損傷などで接触が悪くなると、充電が正しく行われなかったり、本機が正しく動作しなかったりする場合があります。

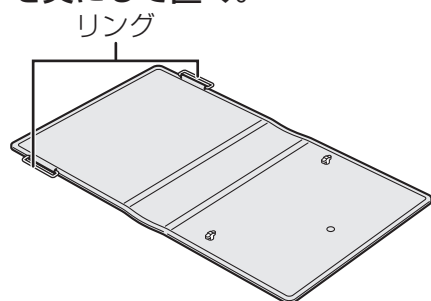
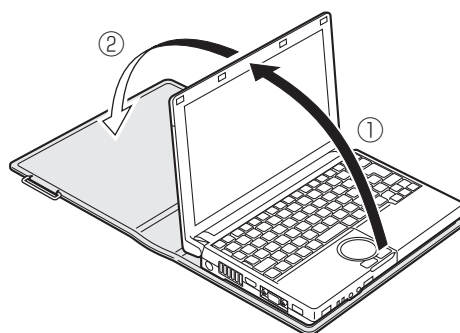
本体を裏返し、バッテリーパックを矢印の方向にスライドして取り付ける。

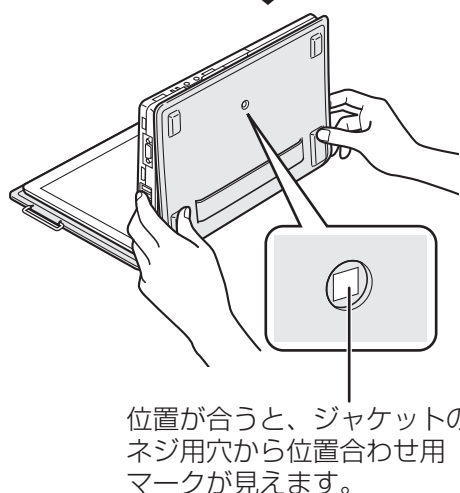
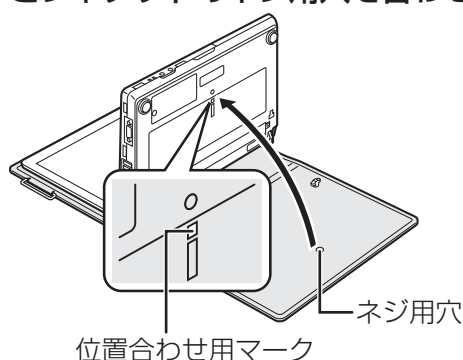
バッテリーパックの左右のくぼみとパソコン本体の突起が合うように挿入してください。

- **バッテリーパックの取り外し方**
  左右のラッチをロック解除 🔓 の方向にスライドした状態で、本体と平行にバッテリーパックを押し出す。

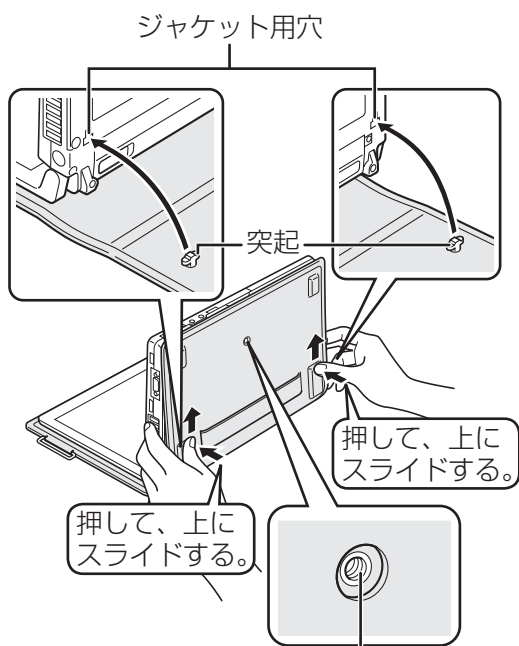
CF-J9シリーズをお使いの場合のみ

3 ジャケットを取り付ける

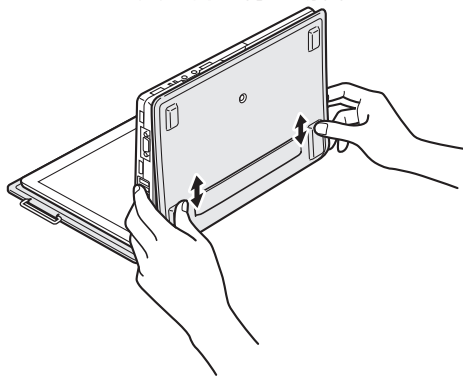
付属のジャケットを本機に取り付けてお使いください。
パソコンの底面やディスプレイ側面にはジャケット取り付け用の穴やマークがあります。

重 要

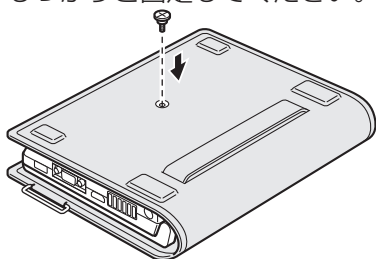
- **ジャケットの取り付け/取り外しは、机の上など平らな場所で行ってください。**
- **ジャケットのお手入れについては、『取扱説明書 基本ガイド』「使用上のお願い」の「お手入れ」をご覧ください。**

1 **付属のジャケットを開き、リング側を奥にして置く。**

2 ① **ジャケットとパソコンの角を合わせるようにパソコンを手前に置き、ディスプレイを直角になるまで開ける。**
② **直角のままディスプレイ側にゆっくりと倒す。**

3 **ジャケットの手前部分を持ち上げ、パソコン底面の位置合わせ用マークとジャケットのネジ用穴を合わせる。**

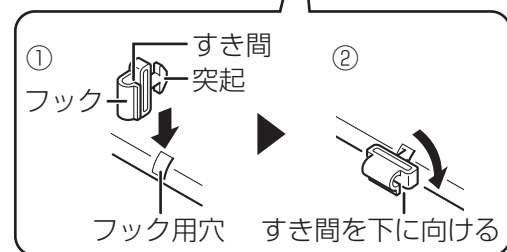
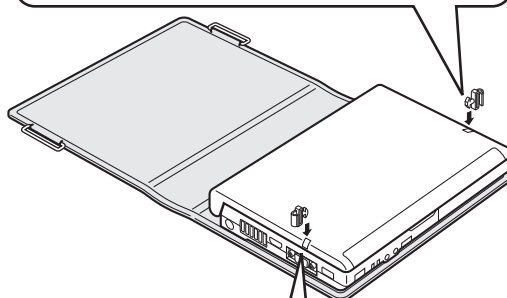
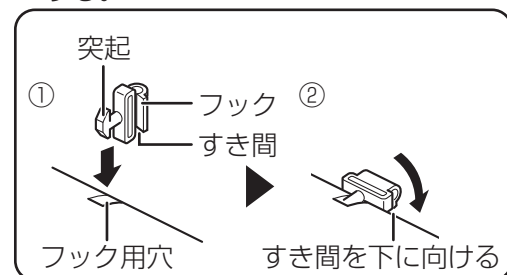
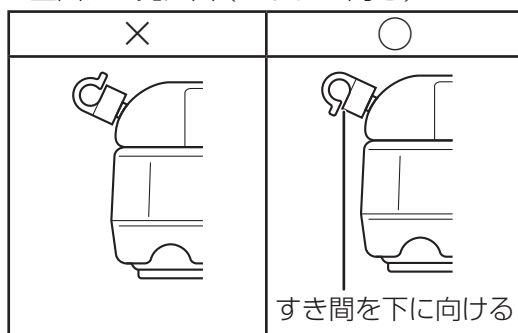
位置が合うと、ジャケットのネジ用穴から位置合わせ用マークが見えます。

4 **位置合わせ用マークが見えることを確認し、図の位置を押してジャケットの突起（2か所）をパソコン底面のジャケット用穴に押し込み、ジャケットを上にスライドする。**

ジャケットのネジ用穴からパソコン底面のネジ穴が見えるまでスライドします。

スライドすると、ジャケットのネジ用穴からネジ穴が見えます。

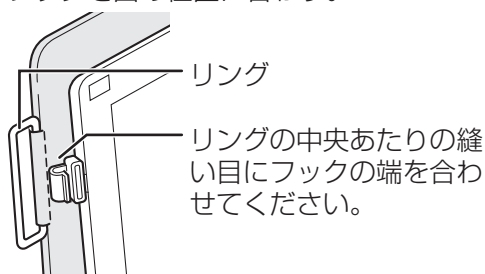
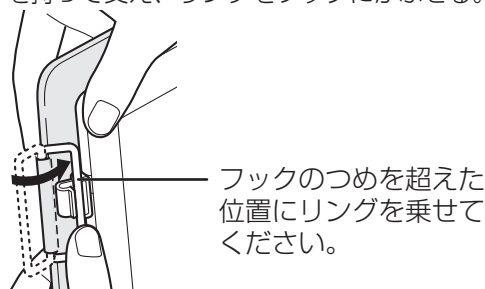
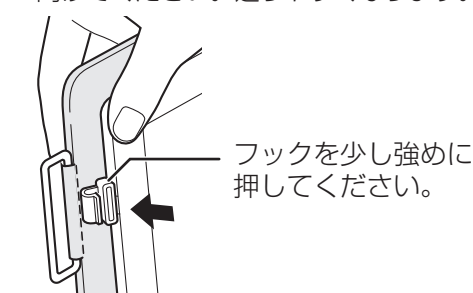
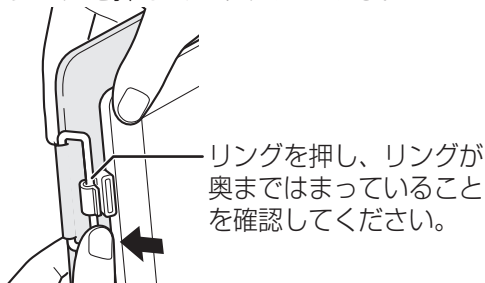
●**突起がジャケット用穴に入らない場合：**
ジャケットを軽く上下させながらジャケット用穴の位置を確認してください。
強く押しながら上下させないでください。パソコン底面に傷が付く場合があります。

5 パソコン底面をディスプレイ側に倒し、ドライバーを使ってジャケットとパソコンをネジで固定する。

しっかりと固定してください。

6 パソコンを表に返してジャケットのみを開け、付属のフック（2個）をディスプレイの両サイドに取り付ける。

フックは４個付属しています。2個は予備ですので、大切に保管してください。

① フックの突起をディスプレイ側面のフック用穴に挿し込む。
② すき間が下に向くようにフックを回転する。

• 正面から見た図（フックの向き）

7 **ディスプレイを開け、ジャケットのリングをフックにはめる。**

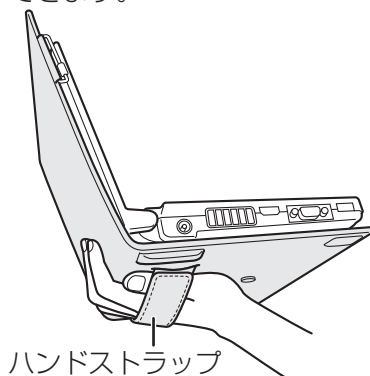
片方ずつはめてください。

① フックを図の位置に合わす。

② 片方の手でディスプレイの角とジャケットを持って支え、リングをフックにかぶせる。

● **フックがリングの中を通らない場合：**
フックを少し強めに押して後ろの方向に向けてください。通りやすくなります。

③ リングを押してフックにはめる。

④ もう片方も同様に取り付ける。

メモ

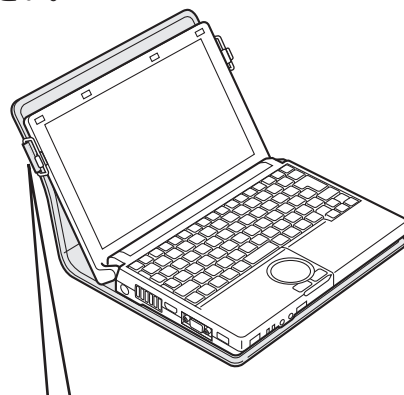
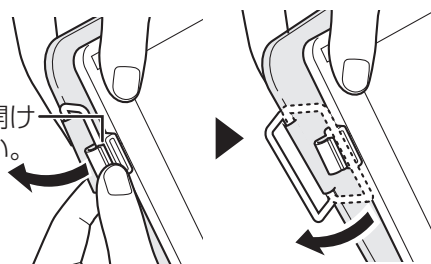
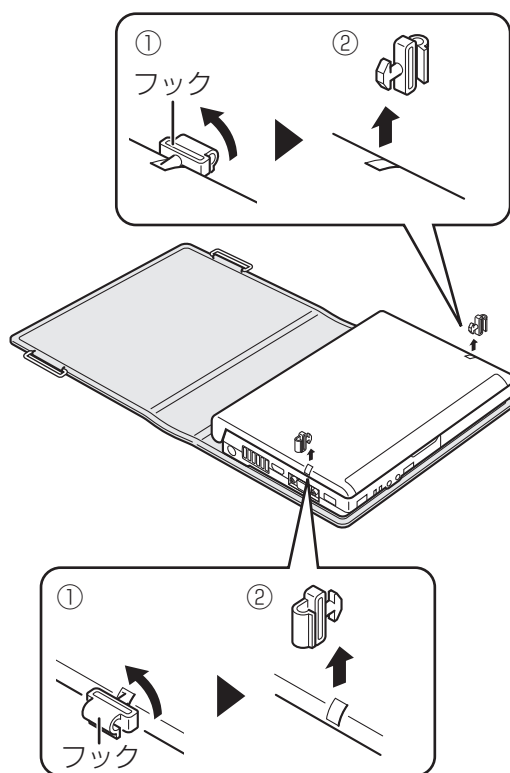
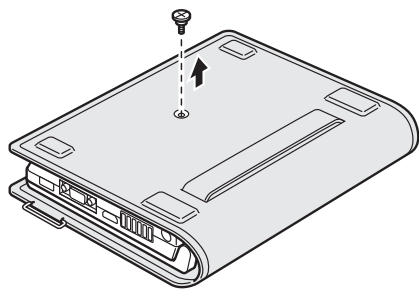
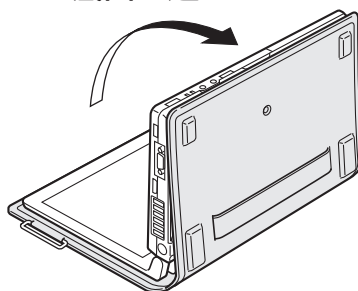
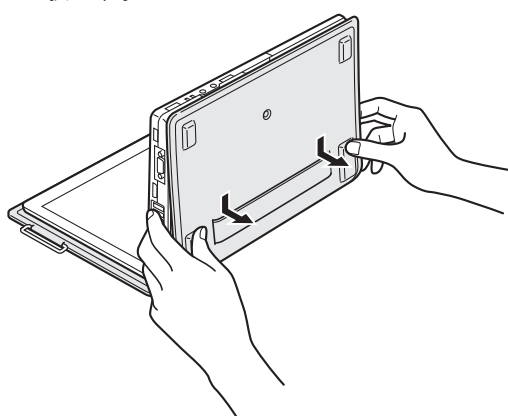
● フックが2個残ります。残ったフックは予備ですので、大切に保管してください。

ハンドストラップを使う

ジャケットを取り付けると、下図のようにジャケットとハンドストラップの間に手を入れて持つことができます。

取り外す

バッテリーパックの交換やRAMモジュールの取り付け/取り外しのときは、ジャケットを取り外す必要があります。次の手順で取り外してください。

1 **ディスプレイを開け、フックのすき間を開けて、リングを取り外す。**

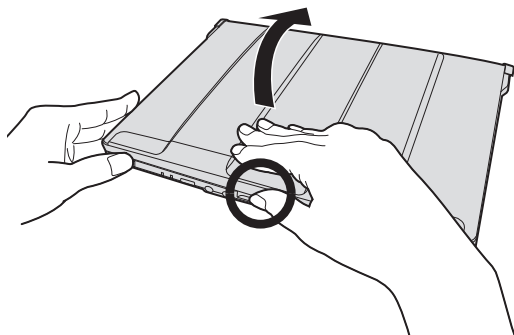
片方ずつ行い、両方のリングを取り外してください。

2 ディスプレイを閉じ、ディスプレイと直角になるまでフックを回転し、フックを引き抜く。

3 パソコンを裏返し、ドライバーを使って底面のネジを取り外す。

4 ディプレイを開けるようにしてパソコン底面を起こす。

5 図の位置に親指を添え、ジャケットを下にスライドした後、手前に引いて取り外す。

重 要

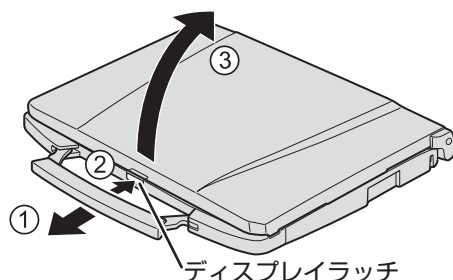
●取り外したネジおよびフックはなくさないようにしてください。

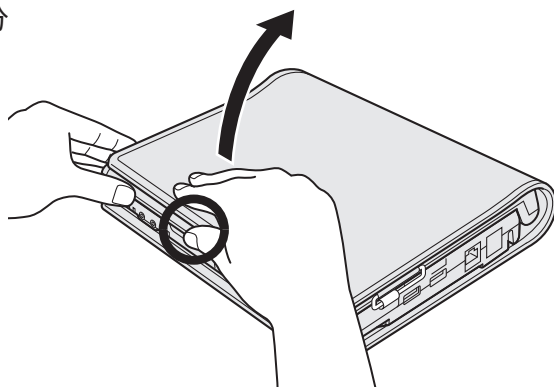
4 電源を入れる

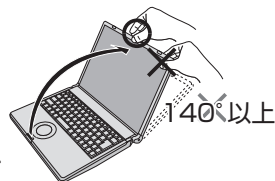
1 ディスプレイを開く

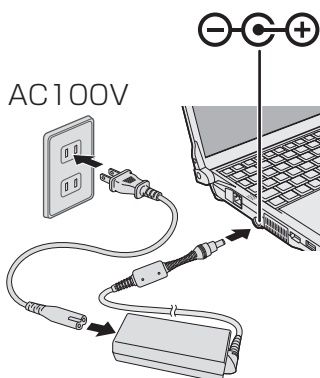
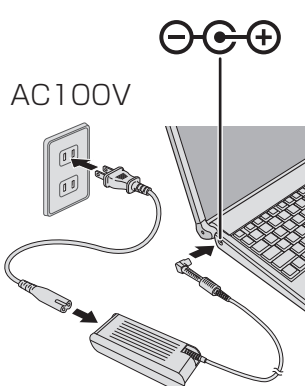
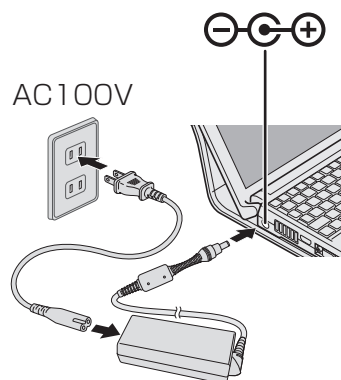
CF-S9/CF-N9シリーズ

パソコンの側面に手を添え、○印の部分を持ってディスプレイを開く。

CF-F9シリーズ

①ハンドルを手前に引く。
②ディスプレイラッチを押しながら、③ディスプレイを開く。
ディスプレイを開いた後は、ハンドルを収納してください。

CF-J9シリーズ

パソコンの側面に手を添え、パソコンの○印の部分を持ってディスプレイを開く。

重 要

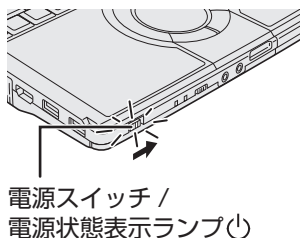
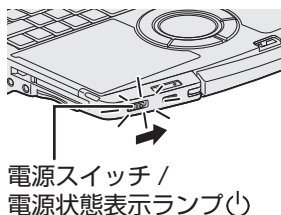
- ディスプレイを 140° 以上開けたり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- ディスプレイを開閉する際は、右図の○印の部分をお持ちください。液晶部分の端を持って開閉すると、液晶が破損する場合があります。
- ディスプレイを開くときにパソコンが浮く場合は、側面などに手を添えて開いてください。

2 ACアダプターを接続する

ACアダプターを接続すると、自動的にバッテリーの充電が始まります。

重 要

- 本書で説明しているWindowsのセットアップが完了するまで、ACアダプターは抜かないでください。
- バッテリーパックとACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。

3 電源を入れる

電源スイッチ ⏻ をスライドし、電源状態表示ランプが点灯したら手を離します。

- 電源スイッチを４ 秒以上スライドさせたり、連続してスライドさせたりしないでください。

重 要

電源を入れた後、Windowsのセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が真っ黒になったり、同じ画面がしばらく表示されたりしますが、故障ではありません。そのままお待ちください。

5 Windowsをセットアップする 所要時間：約20分

セットアップの前に

Windowsを使用できるようになるまで 、必ずACアダプターを接続した状態にしておいてください。

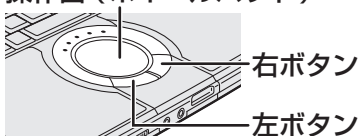
- Windowsのセットアップが完了するまで、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。セットアップが正しく動作しない場合があります。
- 本機では、ハードディスクドライブの管理情報などがハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1回あたり最大1024バイトです。
  これらの情報は、万が一ハードディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。
  この機能を無効にするには、Windowsのセットアップが終わった後に、PC情報ビューアーの[ハードディスク使用状況]の[管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする]のチェックボックスにチェックマークを付けて[OK]をクリックしてください。
  ただし、無効にするとPC情報ポップアップのハードディスクの使い方に関するお知らせ機能※1も無効になります。
  詳しくは、Windowsのセットアップが終わった後に、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「パナソニックからの必要な情報を確認する」および『困ったときのQ&A』「サポート情報 / 使用状況を調べる」の「本機の使用状態を確認したい」をご覧ください。

  ※1 ハードディスクの使い方に関するお知らせ機能は、フラッシュメモリードライブ搭載モデルではお使いいただけません。

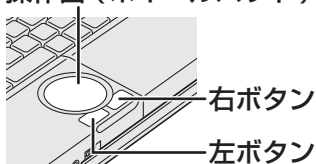
ホイールパッドの基本操作

マウスと同じように、ポインターを動かしたり機能を選択したりします。
Windowsのセットアップ時、ポインターの移動やボタンなどの選択（クリック）には、ホイールパッドの操作面と左ボタンを使います。

CF-S9/CF-N9/CF-F9シリーズ

操作面（ホイールパッド）

CF-J9シリーズ

操作面（ホイールパッド）

重 要

- 操作面にものを置いたり、つめなど先のとがったものや硬いもの、ペンのような跡の残るもので操作したりしないでください。
- 油などでホイールパッドを汚さないでください。ポインターが正常に動かなくなります。

機能	操作
ポインターを動かす	指先を操作面で動かす。
タップ／クリック／右クリック	タップ または クリック　右クリック
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ または ダブルクリック
ドラッグ	または 1回タップしてから素早く指先で操作面をこする。　ボタンを押しながら指を移動させる。
縦／横スクロール	または 下方向／右方向　上方向／左方向 ホイールパッドの端から円を描くようになぞる。 横スクロールは、ご使用前に初期設定が必要です。 ➡ 『操作マニュアル』「（ホイールパッド）」

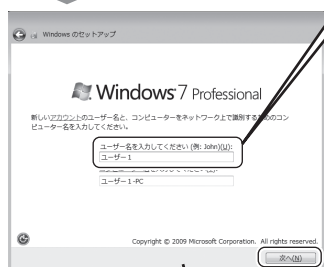
最初に行う
5 Windowsをセットアップする

Windows 7のセットアップ

重 要

電源を入れた後、Windowsのセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が真っ黒になったり、同じ画面がしばらく表示されたりしますが、故障ではありません。そのままお待ちください。

1 設定を変更せずに[次へ]をクリック。

この画面の設定は後で変更可能

2 ユーザー名をキーボードで入力する。

ユーザー名は自由に入力してください。ただし、@、CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1～COM9、LPT1～LPT9は使用できません。
特に「@」を含んだユーザー名を設定すると、パスワードを設定していなくてもログオン画面でパスワードの入力が求められます。空白でログオンしようとしても「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」と表示され、ログオンできなくなります。ログオンできない場合は、Windowsの再インストールが必要になります。再インストールの方法については、付属の『取扱説明書 基本ガイド』をご覧ください。

コンピューター名は、ネットワークを使用して複数のパソコンと接続する場合に本機を識別するための名前です。ユーザー名を入力すると、コンピューター名にも「ユーザー名-PC」が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。ネットワークに接続しない場合は、画面に表示された名前を変更する必要はありません。

3 [次へ]をクリック。

この画面の設定は後で変更可能

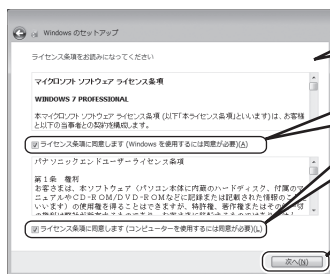
4 各項目をキーボードで入力する。

パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号です。英字の大文字と小文字は区別されます。

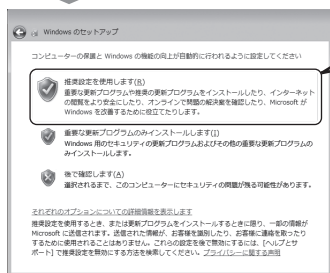
5 [次へ]をクリック。

メ モ

- Caps Lockを押していたり、NumLkを押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力/設定されてしまうおそれがあります。
- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsにログオンできなくなります。

5 Windowsをセットアップする

⑥ ライセンス条項をよく読む。

⑦ 2か所をクリックして
チェックマークを付ける。

⑧ [次へ] をクリック。

⑨ [推奨設定を使用します]
をクリックする。

Windowsの自動更新が[有効]になり、インターネット接続時にWindowsの更新プログラムが自動的にインストールされます。
[重要な更新プログラムのみインストールします]または[後で確認します]を選択する場合は、[それぞれのオプションについての詳細情報を表示します]をクリックし、内容をよくお読みください。

⑩ 各項目を設定する。

日付
カレンダー上部の◀▶をクリックして年月を選び、日をクリックします。

⑪ [次へ]をクリック。

時刻
時間、分、秒をクリックした後、数字を直接入力するか、時刻の右側の▲▼をクリックします。

⑫「ワイヤレスネットワークへの接続」画面が表示された場合は、[スキップ]をクリックする。

「ワイヤレスネットワークへの接続」画面は表示されない場合があります。
ワイヤレス ネットワークの設定は、Windowsのセットアップ完了後に行うことができます。

「ようこそ」のメッセージが表示された後に「-- 初期設定を行っています。--」の画面が表示され、各種設定が行われた後、Windowsが起動します。

「設定が完了すると自動的に再起動しますので、そのままお待ちください」というメッセージが表示された場合は、各種設定が行われた後、Windowsが自動的に再起動します。そのままお待ちください。この間、ACアダプターを抜いたり電源を切ったりしないでください。

⑬ 左の画面が表示された場合は、手順④で設定したパスワードを入力して➡をクリックする。

パスワードを設定していない場合やモデルによっては左の画面が表示されない場合があります。

CF-S9/CF-F9シリーズをお使いの場合

⑭ リカバリーディスクの作成を希望される場合は、Windowsが起動したら、リカバリーディスクを作成する。（➡15ページ）

●セキュリティ対策として、ウイルス対策ソフト（マカフィー・PCセキュリティセンターなど）のご利用をお勧めします。詳しくは、『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「ウイルスの感染を防ぐ」をご覧ください。

CD/DVDドライブ搭載モデルの場合

●工場出荷時はCD/DVDドライブの電源がオフに設定されているため、[コンピューター]などでCD/DVDドライブが表示されません。ドライブの電源をオンにすると、表示されるようになります。
また、オンにしたとき、通知領域に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示される場合があります。

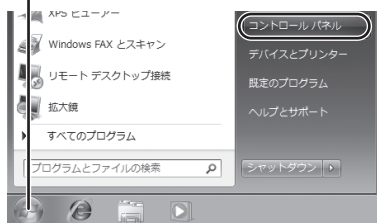
Windows 7の設定を変更する

Windowsのセットアップ時にパスワードを設定し忘れた場合や、自動更新の設定を変更したい場合は、セットアップ完了後、次の手順で変更できます。

●パスワードを設定する

次の手順で設定してください。

1 （スタート）-[コントロールパネル]をクリックし、[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]をクリックする。

スタート

2 [Windowsパスワードの変更]をクリックする。

3 [アカウントのパスワードの作成]（または[個人用パスワードの変更]）をクリックする。

4 画面に従ってパスワードをキーボードで入力する。

パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号です。英字の大文字と小文字は区別されます。
設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsにログオンできなくなります。

5 パスワードを忘れたときのために、自分だけにわかる、パスワードを思い出すためのヒントを入力する。

6 [パスワードの作成]（または[パスワードの変更]）をクリックする。

7 をクリックし、ウィンドウを閉じる。

パスワードの設定はこれで完了です。

5 Windowsをセットアップする

メモ

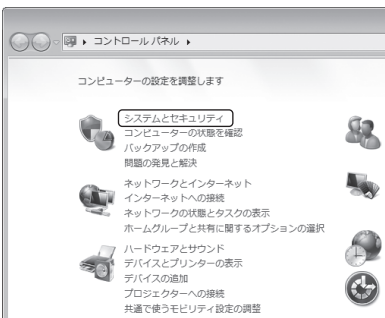
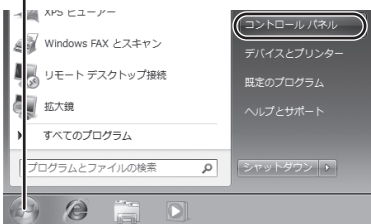
- [Caps Lock]がロックされていたり、[NumLk]を押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力/設定されてしまうおそれがあります。
- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsにログオンできなくなります。

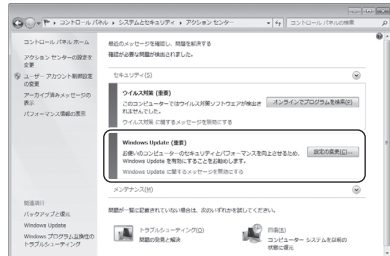
●自動更新を設定する

「Windows 7のセットアップ」の手順 9 （➡ 12ページ）で[後で確認します]を選択した場合などに行ってください。

自動更新を「有効」にしておくと、インターネット接続時にWindowsの重要な更新プログラム（セキュリティの更新など）が提供されていないか定期的に確認され、自動的にインストールされます。

1. （スタート）-[コントロールパネル]をクリックし、[システムとセキュリティ]-[アクションセンター]をクリックする。

スタート

2. [Windows Update]の[設定の変更]をクリックする。

[自動更新]がすでに「有効」になっている場合は、[Windows Update]の項目は表示されません。

3. [自動的に更新プログラムをインストールします]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は[はい]をクリックしてください。

手順 2 の画面に戻ります。
[Windows Update]の項目が表示されていないことを確認してください。

4. [×] をクリックし、表示しているウィンドウをすべて閉じる。

自動更新の設定はこれで完了です。

メモ

- 自動更新が「有効」になっているときに設定を変更するには、（スタート)-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[自動更新の有効化または無効化]をクリックしてください。

ワイヤレスWAN搭載モデルをお使いの場合

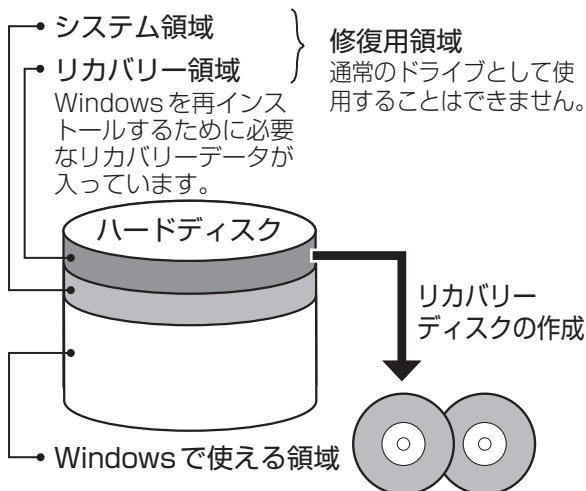
本機に内蔵のワイヤレスWAN機能を使うには、事前にNTT ドコモのFOMA® 回線契約が必要です。FOMA 回線契約時には、本人確認書類の送付が必要になりますので、本機に付属の封筒と送付書をご利用ください。
NTT ドコモのFOMA 回線のお申し込みについては、付属の『取扱説明書 ワイヤレスWAN接続ガイド』および次のWebページをご覧ください。
http://www.hspc-docomo.net（2010年10月1日現在）

CF-S9/CF-F9シリーズをお使いの場合のみ

6 リカバリーディスクを作成する

所要時間：約1時間

リカバリーディスクについて

Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりすると、Windowsの再インストールが必要になる場合があります。
本機のハードディスクには、Windowsを再インストールするために必要なリカバリーデータを収納したリカバリー領域があり、この領域のデータを使ってハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
また本機には、お買い上げ時の状態に戻すためのリカバリーディスクを作成できる「リカバリーディスク作成ユーティリティ」がインストールされています。リカバリーディスクの作成を希望される場合は、「リカバリーディスクを作成する」(➡16ページ）の手順で作成することができます。

リカバリーディスクは一度しか作成できません。

メモ

- リカバリーディスクを使って再インストールするよりも、ハードディスクのデータを使った方が、短い時間で再インストールすることができます。

- **内蔵のCD/DVDドライブでリカバリーディスクを作成することができます。未使用のDVD-Rまたは+R（1層）を2枚お買い求めください。**
  「データ用」および「録画用」どちらでも使うことができます。

メモ

- リカバリーディスク作成後でもハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールすることができます。
- 次のリカバリーディスクを作成することができます。

  Windows 7 Professional（64ビット）

  32ビットと64ビットの切り替え方法については、『取扱説明書 基本ガイド』の「再インストールする」をご覧ください。
- ハードディスクのバックアップや復元、パーティションの変更などを行うための市販のアプリケーションソフトをインストールしていると、ハードディスクの一部（先頭部分）が書き換わってしまい、リカバリーディスクが作成できない場合があります。
  リカバリーディスクは、これらのアプリケーションソフトをインストールする前に作成されることをお勧めします。
- CF-N9/CF-J9シリーズは、リカバリーディスク（プロダクトリカバリー DVD-ROM Windows® 7 Professional）が付属しています。リカバリーディスクを作成することはできません。この「6.リカバリーディスクを作成する」の操作を行う必要はありません。

リカバリーディスク作成の前に

- 未使用のDVD-Rまたは+R（1層）を2枚準備してください。
  これら以外のディスクは使用できません。
  「データ用」および「録画用」どちらでも使うことができます。
  動作確認済みのディスクについては、インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。
  http://askpc.panasonic.co.jp/work/disk/index.html

以下のディスクは使えません

- DVD-RW、+RW、DVD-RAM、DVD-R DL、+R DL、Blu-ray Disc
- CD-R、CD-RW

6 リカバリーディスクを作成する

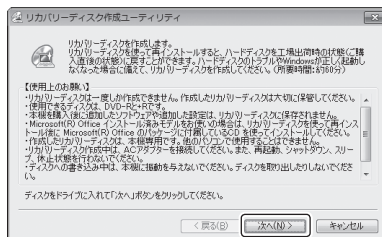
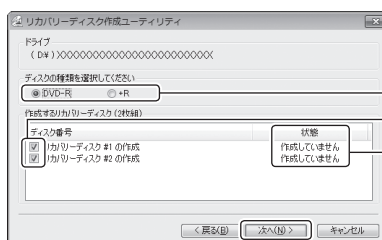
次の点を確認してください。

- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- LANケーブルや周辺機器、SDメモリーカードなどは、すべて取り外してください。
- 自動的に起動するアプリケーションソフトは終了してください。
- 無線LANでネットワークに接続している場合は、無線切り替えスイッチで無線機能の電源を切ってください。
- ハードディスクの空き容量が10 GB以上あることを確認してください。空き容量が足りないと作成できません。

リカバリーディスクを作成する

重 要

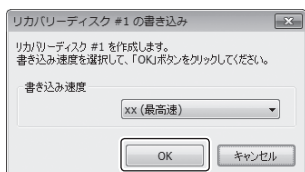
- 所要時間は約1時間です（所要時間は、書き込み速度やシステム設定により変動します）。時間に余裕を持って作成してください。
- リカバリーディスクの作成を中断した場合、リカバリーディスク作成ユーティリティが終了するまでしばらく時間がかかります（約10分）。そのままお待ちください。リカバリーディスク作成ユーティリティが終了した後、最初からやり直して作成してください。
  ディスクの書き込み中に中断すると、書き込み中のディスクは使用できなくなります。未使用の新しいディスクを用意してください。
- 作成したリカバリーディスクは大切に保管してください。
- 作成したリカバリーディスクは本機専用です。他のパソコンで使用することはできません。
- リカバリーディスク作成中は次のことを行わないでください。リカバリーディスクが作成できなくなります。
  - Windowsの終了や再起動
  - スリープ状態 / 休止状態機能の使用
  - CD/DVDドライブのドライブ文字の変更

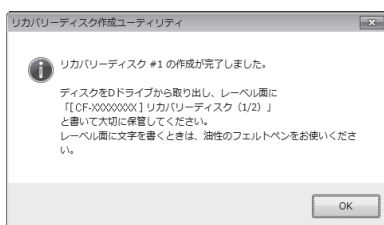
1. ACアダプターを接続する。
2. 管理者のユーザーアカウントでログオンする。
3. 未使用のディスクをセットする。
4. （スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [リカバリーディスク作成ユーティリティ]をクリックする。
   「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
5. 画面の注意事項をよく読み、[次へ]をクリックする。

6. 作成するリカバリーディスクにチェックマークが付いていることを確認し、[次へ]をクリックする。

A：リカバリーディスク作成に使用するディスクの種類をクリックします。
ディスクの種類を間違うと、しばらくしてエラーメッセージが表示されます。

B：作成するリカバリーディスクの枚数分の項目が表示されます。
- リカバリーディスク作成ユーティリティを初めて起動したときは、すべての項目にチェックマークを付けたままにしてください。

C：作成途中で終了したときなどやり直す場合は、[状態]に現在の作成状況が表示されます。
- [完了しました]と表示されている場合：
  該当のリカバリーディスクの作成が完了しています。
- [失敗の記録があります]と表示されている場合：
  前回途中で終了したため、作成に失敗しています。最初からやり直してください。

リカバリーディスク作成の準備が始まります。そのままお待ちください。準備が終わると、「リカバリーディスク#1の書き込み」画面が表示されます。

7 書き込み速度を選び、[OK]をクリックする。

- ディスクの作成準備やディスクのチェックにそれぞれ10分～ 20分かかる場合があります。
- ディスクへの書き込みが始まり、画面に作成しているディスクの番号と作成状況が表示されます。そのままお待ちください。CD/DVD ドライブからディスクを取り出したり、パソコンに振動や衝撃を与えたりしないでください。

8 「リカバリーディスク#1の作成が完了しました」画面が表示されたら、リカバリーディスクを取り出し、レーベル面（データが書き込まれていない面）にディスクの名前や内容を書く。

- ボールペンなどペン先が硬いものは使わないでください。
- レーベルに記入する内容（一例）
  - ディスクの名前：リカバリーディスク
  - ディスクの番号（何枚中の何枚目）：「2枚中の1枚目」や「1/2枚」を記入してください。
  - 本機の品番：「リカバリーディスク#1の作成が完了しました」画面 または本体底面に記載されている「CF-」で始まる文字（例：CF-S9LYNADPなど）

9 [OK]をクリックする。

10 「リカバリーディスク#2の書き込み」画面で、2枚目のディスクをセットし、書き込み速度を選んで[OK]をクリックする。

- 1枚目と異なる種類のディスクをセットすると、しばらくしてエラーメッセージが表示されます。1枚目と2枚目は同じ種類のディスクを使用してください。

11 「リカバリーディスク#2の作成が完了しました」画面が表示されたら、リカバリーディスクを取り出し、手順**8**と同じように、レーベル面（データが書き込まれていない面）にディスクの名前や内容を書く。

- ディスクの番号は、「2枚中の2枚目」や「2/2枚」を記入してください。

12 [OK]をクリックする。

13 「すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました」画面で、[OK]をクリックする。

これでリカバリーディスクの作成は終了です。作成したリカバリーディスクは大切に保管してください。

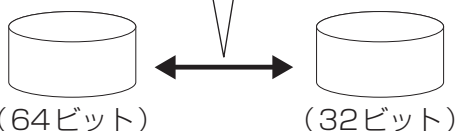
メモ

●次のリカバリーディスクが作成されます。

Windows 7 Professional（64ビット）

他のOSのリカバリーディスクを作成することはできません。
リカバリーディスクと異なるOS（32ビットまたは64ビット）に切り替えるには：

- ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使ってWindowsを再インストールする必要があります。

ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストール

- リカバリー領域のデータが使えない場合は、リカバリーディスクを使ってWindowsを再インストールした後、リカバリー領域のデータを使ってWindowsを再インストールしてください。

リカバリーディスクのQ&A

<table>
<tr><th>質　問</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td rowspan="6">リカバリーディスク作成ユーティリティが起動しない</td><td>管理者のユーザーアカウントでWindowsにログオンし直してください。
標準ユーザーではリカバリーディスク作成ユーティリティを起動することができません。それでもリカバリーディスク作成ユーティリティが起動しない場合は、Windowsを再起動してください。</td></tr>
<tr><td>別のユーザーがリカバリーディスク作成ユーティリティを起動している場合は、どちらかのユーザーがリカバリーディスク作成ユーティリティを終了してください。
リカバリーディスク作成ユーティリティは、複数のユーザーが同時に使用することはできません。</td></tr>
<tr><td>ハードディスクの空き容量を確認してください。
リカバリーディスクを作成するには、ハードディスクに約10 GBの空き容量が必要です。</td></tr>
<tr><td>「リカバリー領域の読み込みに失敗しました」というメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ一覧」をご覧ください。（➡19ページ）
ハードディスク内にあるリカバリー領域が削除されていたり、ハードディスクに何らかの問題が発生している場合があります。</td></tr>
<tr><td>リカバリーディスクの作成が完了している場合があります。作成済みか確認するには、PC情報ビューアーを起動し、[PC使用状況]の[リカバリーディスク作成]をご覧ください。[作成済み]と表示されている場合は作成が完了しています。
以降リカバリーディスク作成ユーティリティを使うことはできません。
<u>リカバリーディスクは1回しか作成できません。</u></td></tr>
<tr><td>リカバリーディスク作成ユーティリティがインストールされているか確認してください。
• リカバリーディスクを使って再インストールを行うと、リカバリーディスク作成ユーティリティはインストールされません（[スタート]メニューにも表示されません）。
• CF-N9/CF-J9シリーズをお使いの場合、リカバリーディスク（プロダクトリカバリーDVD-ROM Windows® 7 Professional）が付属しています。リカバリーディスク作成ユーティリティはインストールされていません。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">リカバリーディスクの作成に失敗した</td><td>DVD-Rまたは+Rがセットされていることを確認してください。
動作確認済みのディスクについては、インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。
http://askpc.panasonic.co.jp/work/disk/index.html</td></tr>
<tr><td>ディスクが正しくセットされているか確認してください。
ディスクカバーを開け、ディスクの中心部をカチッと音がするまで押してしっかりとセットしてください。</td></tr>
<tr><td>レンズやディスクが汚れていたり、ディスクが変形したりしていないか確認してください。
• 汚れている場合は、レンズやディスクのクリーニングを行ってください。詳しくは、『操作マニュアル』「（CD/DVDドライブ）」の「使用上のお願い」をご覧ください。
• 変形している場合は、新しいディスクに交換し、作成し直してください。</td></tr>
</table>

エラーメッセージ一覧

リカバリーディスク作成中にエラーメッセージが表示された場合は、各画面で[OK]をクリックし、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、または下記以外のメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>対 処</th></tr>
<tr><td>リカバリー領域の読み込みに失敗しました</td><td>ハードディスク内にあるリカバリー領域が削除されています。または、ハードディスクに何らかの問題が発生しています。
• Windowsを再起動し、再度リカバリーディスク作成ユーティリティを起動して作成してみてください。
再度エラーメッセージが表示される場合は、次の手順でリカバリー領域が削除されていないか確認してください。
リカバリー領域の確認方法
① （スタート）をクリックし、[コンピューター]を右クリックする。
② [管理]をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
③ [ディスクの管理]をクリックし、[回復パーティション]が表示されていることを確認する。
1つ目の[回復パーティション]がリカバリー領域です。<table><tr><td>回復パーティション</td><td>アクティブ、回復パーティション</td><td>（C:）</td></tr></table>上記と異なるハードディスク構成の場合は、リカバリーディスクを作成することができません。
• ハードディスク内にリカバリー領域がある場合は、PC-Diagnosticユーティリティで[HDD xxxGB]（ハードディスク）の診断を行ってください。（➡『取扱説明書 基本ガイド』「ハードウェアを診断する」）</td></tr>
<tr><td>イメージファイルの作成に失敗しました</td><td>ハードディスク内にあるリカバリー領域が壊れています。
• エラーメッセージの「リカバリー領域の読み込みに失敗しました」に記載の「リカバリー領域の確認方法」に従って、リカバリー領域を確認してください。</td></tr>
<tr><td>ディスクの書き込みに失敗しました</td><td>書き込みに失敗しています。
• ディスクの書き込み中に失敗した場合は、書き込み中のディスクは使用できなくなります。未使用の新しいディスクをセットしてください。
• ディスクの書き込み中は、CD/DVDドライブに振動を加えないでください。</td></tr>
<tr><td>標準デュアル チャネル PCI IDE コントローラの取り外し中にエラーが発生しました</td><td>リカバリーディスクの作成中にディスクを取り出そうとした可能性があります。
• ディスクが正しくセットされていることを確認し、やり直してください。</td></tr>
<tr><td>ディスクの書き込み中にDVDドライブが取り外されました</td><td>リカバリーディスクの作成中にCD/DVDドライブのドライブ文字を変更した可能性があります。</td></tr>
</table>

フラッシュメモリードライブについて
（フラッシュメモリードライブ搭載モデルのみ）

フラッシュメモリードライブ搭載モデルには、ハードディスクドライブの代わりにフラッシュメモリードライブが取り付けられています（ハードディスクドライブは取り付けられていません）。ここでは、フラッシュメモリードライブ搭載モデル独自の機能について説明します。
フラッシュメモリードライブが搭載されているかどうかは「仕様」で確認してください。

重 要

- **『取扱説明書 基本ガイド』や『操作マニュアル』などに記載の「ハードディスク」および「ハードディスクドライブ」を「フラッシュメモリードライブ」と読み替えてください。例えば、セットアップユーティリティの「情報」メニューに表示される「ハードディスク」はフラッシュメモリードライブを指し、「セキュリティ」メニューに表示される「ハードディスク保護」はフラッシュメモリードライブのデータの読み書きを制限する機能を指します。**
  ただし、「ハードディスクドライブ搭載モデルのみ」と記載されている項目については、お使いいただけません。

メ モ

- フラッシュメモリーの寿命を延ばすには、フラッシュメモリードライブへの書き込み回数を減らすことが有効な手段になります。Windows 7では、フラッシュメモリードライブが搭載されていることを認識し、自動デフラグを停止します。設定などを行う必要はありません。

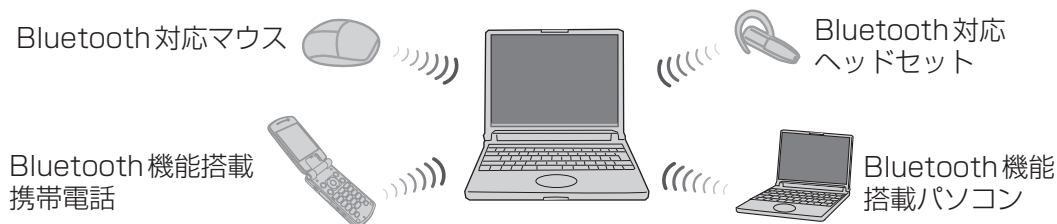
Bluetoothについて
（Bluetooth搭載モデルのみ）

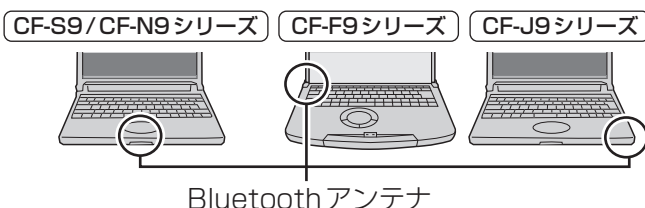
Bluetoothが搭載されているかどうかは「仕様」で確認してください。

Bluetoothとは

Bluetoothとは、ケーブルを接続せずに他のBluetooth 機器（パソコン、携帯電話、ヘッドセット、マウス、アクセスポイントなど）とデータを交換する無線通信技術です。対応のマウスなどを使えば、ケーブルを接続することなく使用できます。
Bluetooth機器の登録方法や接続／切断の方法は、Bluetoothユーティリティユーザーズガイドをご覧ください。

●ユーザーズガイドの見方

(スタート) - [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [Bluetoothユーザーズガイド] をクリックする。

重 要

●Bluetoothアンテナを経由して通信が行われます。
アンテナ部を手でふさぐなど、電波の妨げになるようなことはしないでください。

メ モ

●通信速度や通信距離は、他のデバイスの通信送受信や設置する環境などの周辺条件によって異なります。
●電波の性質上、通信距離が長くなるにしたがって通信速度が低下する傾向があります。Bluetooth対応の機器どうしは近い距離で使用することをお勧めします。
●電子レンジなどを使用中に、通信速度が低下する場合があります。

Bluetoothの電源を切り替える

Bluetoothを使用する前にBluetooth の電源を入れてください。Bluetoothの電源を切り替えるには、次の方法があります。

- 無線切り替えスイッチで切り替える。
- 無線切り替えユーティリティで切り替える。

詳しくは、『操作マニュアル』「（無線機能）」の「無線機能の電源を入れる/切る」をご覧ください。

メ モ

●画面右下の通知領域のをクリックしてまたはにポインターを合わせると、無線 LANやBluetoothなど、搭載されている無線機能の電源の状態、およびIEEE 802.11aの有効／無効が表示されます。
●画面右下の通知領域のをクリックして（Bluetooth Manager）を右クリックし、[Bluetoothオフ]をクリックすると、Bluetoothの電源はオンのまま電波だけがオフになります。

Bluetoothについて（Bluetooth搭載モデルのみ）

重 要

● セットアップユーティリティの「詳細」メニューの［Bluetooth］ が［有効］に設定されていることを確認してください。［無効］に設定していると、Bluetoothの電源を入れることはできません（初期設定は［有効］）。（➡『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「セットアップユーティリティ」）
● 本機を屋外でお使いになる場合は、無線切り替えユーティリティを使って、あらかじめIEEE802.11aまたは無線LAN機能を無効に設定してください。
無線LANのIEEE802.11aの5.2GHz/5.3GHz帯（W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。5.47GHz ～ 5.725GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。
無線LAN機能およびIEEE802.11aを有効に設定していると、無線LANを使うつもりがない場合でも、IEEE802.11aを使って通信が行われる場合があります。

IEEE802.11aまたは無線LAN機能を無効に設定する方法

① 画面右下の通知領域のをクリックしてまたはをクリックする。
② ［802.11a 無効］または［無線LAN オフ］をクリックする。

Bluetooth機器の登録、接続／切断

Bluetooth機器の登録方法や接続／切断の方法は、次の手順でBluetoothユーティリティユーザーズガイドをご覧ください。

（スタート）-［すべてのプログラム］-［Bluetooth］-［Bluetoothユーザーズガイド］をクリックする。
［Bluetoothユーティリティを使ってみよう］-［操作の流れ］をクリックし、画面をスクロールして［次へ］をクリックすると、「基本設定」の説明を見ることができます。

● 新しい接続の追加やBluetoothの設定、オプション機能の設定は、画面右下の通知領域の（Bluetooth Manager）を右クリックし、各メニューをクリックしてください。
● パソコンの電源を入れた後、「自動登録」の画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。

メ モ

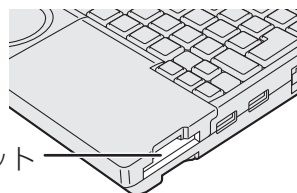
● スリープまたは休止状態から復帰したとき、「TosBtMngは動作を停止しました」とメッセージが表示され、Bluetooth機器との接続が切断される場合があります。この場合は［プログラムの終了］をクリックした後、（スタート）-［すべてのプログラム］-［Bluetooth］-［Bluetooth設定］をクリックして「Bluetooth設定」画面で接続し直してください。

BluetoothのQ&A

Bluetoothが使えない	ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、Bluetoothが使えない場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、すべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、本機を再起動してください。
Bluetoothマウス使用後、ホイールパッドでポインターを操作できない	USBマウスヘルパーをインストールしている場合、Bluetoothマウスが使用圏外に離れている状態でもマウスとして認識されたままになることがあります。その場合は、ホイールパッドが無効のままになります。ホイールパッドをお使いになる場合は、USBマウスヘルパーをアンインストールしてください。

Bluetoothが正しく動作しない場合は、PC-Diagnosticユーティリティを使って、正常に動作しているかを診断することができます。操作方法は、『取扱説明書 基本ガイド』の「ハードウェアを診断する」をご覧ください。

ExpressCardモジュールについて
（ExpressCardスロット搭載モデルのみ）

ExpressCardスロットが搭載されているかどうかは「仕様」で確認してください。
ExpressCardスロット搭載モデルをお使いの場合は、右図の位置にExpressCardスロットが搭載されています。

使用可能なExpressCardモジュール

ExpressCard規格に準拠したExpressCardモジュールには、幅が34 mmと54 mmのものがあります。本機は34 mmサイズのExpressCardモジュールを挿入することができます。

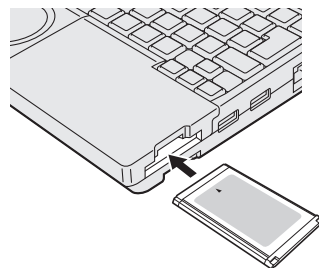
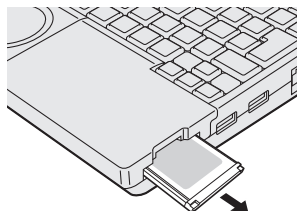
●ExpressCard/34

●ExpressCard/54

- ●ExpressCardモジュールによっては、本機で使用できなかったり、機能が制限されていたりする場合があります。
- ●ExpressCardモジュールをお使いになるときは、ドライバーなどのインストールが必要になる場合があります。ExpressCardモジュールに付属の説明書もご覧ください。
- ●ExpressCardモジュールがWindows 7（32ビットまたは64ビット）に対応していることを確認してください。詳しくは、ExpressCardモジュールのメーカーにお問い合わせください。

ExpressCardモジュールの取り付け

カードの表を上にして、しっかりと奥まで挿し込んでください。

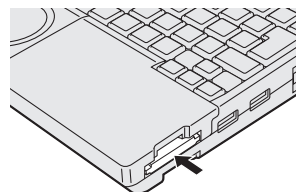
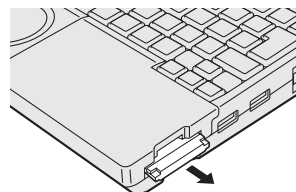
重 要

- ●スロットの奥にあるコネクターにしっかりと挿し込んでください。
- ●ExpressCardモジュールが入りにくい場合は、無理に挿し込まないでください。
無理に挿し込むと、モジュールが破損したり、取り出せなくなったりします。モジュールの向きを確認し、取り付け直してください。
- ●本機を持ち運ぶときは、本機から突き出たExpressCardモジュールを取り出してください。

- ●スリープ状態/休止状態からリジュームした後に本機が動作しなくなったときは、ExpressCardモジュールを取り出し、取り付け直してください。それでも動作しない場合は、Windowsを再起動してください。

ExpressCardモジュールの取り出し

重 要

- ●スリープ状態 / 休止状態のときは、ExpressCardモジュールを取り出さないでください。
- ●開いている重要なファイルは保存し、すべてのアプリケーションソフトを閉じてください。

パソコンの電源が入っている場合

1. 画面右下の通知領域の をクリックし、 をクリックする。
2. ExpressCardモジュールの [xxxxxxxxxx の取り出し] をクリックする。
3. ExpressCardモジュールを軽く押す。

4. 少し飛び出たExpressCardモジュールを持って、そのまま引き出す。
ExpressCardモジュールを挿し込んだ状態から無理に引き抜くと故障の原因になります。ご注意ください。

パソコンの電源を切っている場合

「パソコンの電源が入っている場合」の手順3～4を行ってください。

ExpressCardモジュールのQ&A

ExpressCardモジュールが使えない	セットアップユーティリティの「詳細」メニューで [ExpressCardスロット] を [有効] に設定してください。
ExpressCardモジュールを取り付けていると、Windowsが起動できない。または終了できない	●Windowsを起動できない、または電源を入れて「Remove disks or other media. Press any key to restart」または同様のメッセージが表示された場合： • ExpressCardモジュール経由で接続している機器を取り外してください。 • セットアップユーティリティの「詳細」メニューで [ExpressCardスロット] を [無効] に設定してください。 ●Windowsを終了できない場合： ExpressCardモジュールを取り外してください。

- ●セットアップユーティリティの起動方法は、『取扱説明書 基本ガイド』の「セットアップユーティリティ」をご覧ください。
- ●ExpressCardモジュールが正しく動作しない場合は、PC-Diagnosticユーティリティを使って、正常に動作しているかを診断することができます。操作方法は、『取扱説明書 基本ガイド』の「ハードウェアを診断する」をご覧ください。

別売り商品

品　　名	ご注文時の品番	対応機種（シリーズ）※1			
		CF-S9	CF-N9	CF-F9	CF-J9
ACアダプター（電源コード付き）	CF-AA6372B2S	◎	◎	－	◎
	CF-AA6502AJS	－	－	◎	－
バッテリーパック	CF-VZSU59U（グレー）（公称容量12.4 Ah）	◎※2	◎	－	－
	CF-VZSU60U（ブラック）（公称容量12.4 Ah）	◎※2	－	－	－
	CF-VZSU61U（シルバー）（公称容量12.4 Ah）	◎※2	－	－	－
	CF-VZSU62U（グレー）※3（軽量バッテリーパック：公称容量6.2 Ah）	○	○	－	－
	CF-VZSU64U（シルバー）※3（軽量バッテリーパック：公称容量6.2 Ah）	○	－	－	－
	CF-VZSU56AJS	－	－	◎	－
	CF-VZSU67JS（バッテリーパック（S）：公称容量6.2 Ah）	－	－	－	◎※4
	CF-VZSU68JS（バッテリーパック（L）：公称容量9.3 Ah）	－	－	－	◎※4
RAMモジュール	CF-BAC02GU（2 GB※5）	○	○	○	○
	CF-BAC04GU（4 GB※5）	○	○	○	○
外部FDD（USB接続外付け3.5型 3モード対応）（1.44 MB※6/1.2 MB※6/720 KB※7）※8	CF-VFDU03U	○	○	○	○
DVD MULTIドライブ	LF-P968C	△※9	○	△※9	－※10
ジャケット（シフォンホワイト）	CF-VNJ001U	－	－	－	◎※2※4
ジャケット（パンサーブラック）	CF-VNJ002U	－	－	－	◎※2※4

別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。仕様改善のため、予告なく変更することがあります。

※1　表中の記号は次のとおりです。
　　◎：対応（パソコン本体の付属品と同等品）
　　○：対応
　　△：対応（一部制限事項あり）
　　－：非対応
※2　色によって品番が異なります。ご注文の際は、必ず色をご確認のうえ、品番を間違えずにご注文ください。
※3　ブラックの軽量バッテリーパックはありません。
※4　どちらが付属しているかは、ご購入時の選択内容により異なります。
※5　1 MB＝1,048,576バイト、1GB＝1,073,741,824バイト
※6　1 MB＝1,024,000バイト
　　OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でMB表示される場合があります。
※7　1 KB＝1,024バイト
※8　1.2 MBと720 KBは読み書き可能／フォーマット不可
※9　CD/DVDドライブ搭載モデルの場合、再インストールおよびハードディスクデータ消去ユーティリティは、外付けのCD/DVDドライブでは行えません。
※10 インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。
　　http://askpc.panasonic.co.jp/work/drive/rcd/j9/index.html

パナソニックグループのショッピングサイト「My Let's 倶楽部」でもお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「My Let's 倶楽部」のWebページ（http://club.panasonic.jp/mall/mylets/open/）をご確認ください。

仕様 日本国内専用

●CF-S9 シリーズ（ハードディスクドライブ搭載モデル）本体仕様

品番	CF-S9LYNADP CF-S9LYNBDP CF-S9LYNCDP	CF-S9LVNBDP	CF-S9LYSADP CF-S9LYSBDP CF-S9LYSCDP
CPU	インテル® vPro™ テクノロジー採用※1		CF-S9LYFEDRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）
	インテル® Core™ i7-640M vPro™ プロセッサー（インテル® スマートキャッシュ 4 MB※2、動作周波数2.80 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー利用時は最大3.46 GHz）		
メインメモリー	標準4 GB※2 DDR3 SDRAM（最大8 GB※2）※3		
空きスロット数	1		
グラフィックアクセラレーター	インテル® HD グラフィックス（インテル® Core™ i7-640M vPro™ プロセッサーに内蔵）		CF-S9LYFEDRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）
ハードディスクドライブ※4	640 GB（Serial ATA） 上記容量のうち約12 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）		
Bluetooth	Bluetooth 仕様 V2.1 + EDR（➡29ページ）		
ワイヤレスWAN	搭載されていません	搭載（➡付属の『取扱説明書 ワイヤレスWAN接続ガイド』）	搭載されていません
バッテリー駆動時間※5	• 付属のバッテリーパック装着時：約14時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時） • 別売りの軽量バッテリーパック装着時：約7時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）	• 付属のバッテリーパック装着時：約12時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時） • 別売りの軽量バッテリーパック装着時：約6時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）	CF-S9LYFEDRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）
質量※6 パソコン本体	約1.33 kg（付属のバッテリーパック（約0.41 kg）装着時）	約1.36 kg（付属のバッテリーパック（約0.41 kg）装着時）	約1.33 kg（付属のバッテリーパック（約0.41 kg）装着時）
上記以外	CF-S9LYFEDRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）		

●CF-S9 シリーズ（フラッシュメモリードライブ搭載モデル）本体仕様

品番	CF-S9LY9ADP CF-S9LY9BDP CF-S9LY9CDP
CPU	インテル® vPro™ テクノロジー採用※1
	インテル® Core™ i7-640M vPro™ プロセッサー （インテル® スマートキャッシュ 4 MB※2、動作周波数2.80 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー利用時は最大3.46 GHz）
メインメモリー	標準4 GB※2 DDR3 SDRAM（最大8 GB※2）※3
空きスロット数	1
グラフィックアクセラレーター	インテル® HD グラフィックス（インテル® Core™ i7-640M vPro™ プロセッサーに内蔵）
ハードディスクドライブ	搭載されていません
フラッシュメモリードライブ※4	256 GB（Serial ATA ） 上記容量のうち約12 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）
Bluetooth	Bluetooth 仕様 V2.1 + EDR（➡29ページ）
ワイヤレスWAN	搭載されていません
バッテリー駆動時間※5	• 付属のバッテリーパック装着時：約15.5時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時） • 別売りの軽量バッテリーパック装着時：約7.5時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）
質量※6 パソコン本体	約1.29 kg（付属のバッテリーパック（約0.41 kg）装着時）
上記以外	CF-S9LYFEDRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）

別売りの軽量バッテリーパックにブラックタイプはありません。軽量バッテリーパックをお買い求めいただく場合は、グレータイプまたはシルバータイプになります。

●CF-N9 シリーズ本体仕様

品番	CF-N9LV1ADP	CF-N9LYTADP
CPU	インテル® vPro™ テクノロジー採用※1 インテル® Core™ i7-640M vPro™ プロセッサー（インテル® スマートキャッシュ 4 MB※2、動作周波数2.80 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー利用時は最大3.46 GHz）	CF-N9LYPEDRと同じ （➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）
メインメモリー	標準4 GB※2 DDR3 SDRAM（最大8 GB※2）※3	
空きスロット数	1	
グラフィックアクセラレーター	インテル® HDグラフィックス（インテル® Core™ i7-640M vPro™ プロセッサーに内蔵）	CF-N9LYPEDRと同じ （➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）
ハードディスクドライブ※4	搭載されていません	640 GB（Serial ATA） 上記容量のうち約12 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）
フラッシュメモリードライブ※4	256 GB（Serial ATA） 上記容量のうち約12 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）	搭載されていません
Bluetooth	Bluetooth 仕様 V2.1 + EDR（➡29ページ）	
ワイヤレスWAN	搭載（➡付属の『取扱説明書 ワイヤレスWAN接続ガイド』）	搭載されていません
バッテリー駆動時間※5	• 付属のバッテリーパック装着時：約13.5時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時） • 別売りの軽量バッテリーパック装着時：約6.5時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）	CF-N9LYPEDRと同じ （➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）
質量※6 パソコン本体	約1.265 kg（付属のバッテリーパック（約0.41 kg）装着時）	約1.275 kg（付属のバッテリーパック（約0.41 kg）装着時）
上記以外	CF-N9LYPEDRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）	

●CF-F9 シリーズ本体仕様

品番	CF-F9LYKCDP	CF-F9LXKCDP
CPU	インテル® vPro™ テクノロジー採用※1 インテル® Core™ i7-640M vPro™ プロセッサー（インテル® スマートキャッシュ 4 MB※2、動作周波数2.80 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー利用時は最大3.46 GHz）	
メインメモリー	標準2 GB※2 DDR3 SDRAM（最大6 GB※2）※3	
空きスロット数	1	
ビデオメモリー	最大763 MB※2、2 GBまたは4 GBのメモリーを増設した場合は最大1696 MB※2（メインメモリーと共用）※7	
グラフィックアクセラレーター	インテル® HDグラフィックス（インテル® Core™ i7-640M vPro™ プロセッサーに内蔵）	
ハードディスクドライブ※4	640 GB（Serial ATA） 上記容量のうち約12 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）	
無線LAN/WiMAX	CF-F9LYFGDRと同じ （➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）	インテル® Centrino® Advanced-N 6200 IEEE802.11a（W52/W53/W56）/b/g/n準拠※8 （➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」） （WiMAXは搭載されていません）
Bluetooth	Bluetooth 仕様 V2.1 + EDR（➡29ページ）	
ワイヤレスWAN	搭載されていません	搭載（➡付属の『取扱説明書 ワイヤレスWAN接続ガイド』）

仕様

品番		CF-F9LYKCDP	CF-F9LXKCDP
バッテリー駆動時間※5		CF-F9LYFGDRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）	約8時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）
質量※6	パソコン本体	約1.63 kg（付属のバッテリーパック（約0.32 kg）装着時）	約1.64 kg（付属のバッテリーパック（約0.32 kg）装着時）
上記以外		CF-F9LYFGDRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）	

●CF-J9 シリーズ本体仕様

品番	CF-J9LV4ADP	CF-J9LY5ADP	CF-J9LYCADP
CPU	インテル® Core™ i7-640M プロセッサー（インテル® スマートキャッシュ 4 MB※2、動作周波数2.80 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー利用時は最大3.46 GHz）		CF-J9LY1AHRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）
メインメモリー	標準4 GB※2 DDR3 SDRAM（最大8 GB※2）※3		
空きスロット数	1		
ビデオメモリー	最大1696 MB※2（メインメモリーと共用）※7		
グラフィックアクセラレーター	インテル® HDグラフィックス（インテル® Core™ i7-640M プロセッサーに内蔵）		CF-J9LY1AHRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）
ハードディスクドライブ※4	CF-J9LY1AHRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）		640 GB（Serial ATA） 上記容量のうち約12 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）
フラッシュメモリードライブ※4	256 GB（Serial ATA ） 上記容量のうち約12 GBをリカバリー領域、約300 MBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）		搭載されていません
Bluetooth	Bluetooth 仕様 V2.1 + EDR（➡29ページ）		
ワイヤレスWAN	搭載（➡付属の『取扱説明書 ワイヤレスWAN接続ガイド』）	搭載されていません	
カードスロット	CF-J9LY1AHRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）	ExpressCardスロット×1スロット（ExpressCard/34） SDメモリーカードスロット※9×1スロット（SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード対応／著作権保護技術対応）	CF-J9LY1AHRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）
バッテリーパック	• バッテリーパック（S）（品番：CF-VZSU67JS）7.2 V（Li-ion）、公称容量6.2 Ah/定格容量5.8 Ah • バッテリーパック（L）（品番：CF-VZSU68JS）7.2 V（Li-ion）、公称容量9.3 Ah/定格容量8.7 Ah		
バッテリー駆動時間※5	• バッテリーパック（S）（品番：CF-VZSU67JS）装着時 約6.5時間（バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時） • バッテリーパック（L）（品番：CF-VZSU68JS）装着時 約9.5時間（バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時）	• バッテリーパック（S）（品番：CF-VZSU67JS）装着時 約7.5時間（バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時） • バッテリーパック（L）（品番：CF-VZSU68JS）装着時 約11時間（バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時）	• バッテリーパック（S）（品番：CF-VZSU67JS）装着時 約7時間（バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時） • バッテリーパック（L）（品番：CF-VZSU68JS）装着時 約10.5時間（バッテリーのエコノミーモード(ECO)無効時）
質量※6 パソコン本体	• ジャケット付き： バッテリーパック（S）（品番：CF-VZSU67JS（約0.23 kg））装着時：約1.155 kg バッテリーパック（L）（品番：CF-VZSU68JS（約0.32 kg））装着時：約1.245 kg	• ジャケット付き： バッテリーパック（S）（品番：CF-VZSU67JS（約0.23 kg））装着時：約1.145 kg バッテリーパック（L）（品番：CF-VZSU68JS（約0.32 kg））装着時：約1.235 kg	• ジャケット付き： バッテリーパック（S）（品番：CF-VZSU67JS（約0.23 kg））装着時：約1.195 kg バッテリーパック（L）（品番：CF-VZSU68JS（約0.32 kg））装着時：約1.285 kg
	• ジャケットなし：ジャケット付きの質量から約0.215 kg軽くなります。		

品番		CF-J9LV4ADP	CF-J9LY5ADP	CF-J9LYCADP
OS※10	ベースOS	Windows® 7 Professional 32ビット 正規版（日本語版）/Windows® 7 Professional 64ビット 正規版（日本語版）（Windows XP Mode搭載）		
	インストールOS	Windows® 7 Professional 64ビット 正規版（日本語版）（Windows XP Mode搭載）		
上記以外		CF-J9LY1AHRと同じ（➡『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」）		

●Bluetooth

品番	CF-S9/CF-N9/CF-J9シリーズ	CF-F9シリーズ
規格	Bluetooth 仕様 V2.1 + EDR	
出力クラス	クラス2	クラス1
転送速度	1 Mbps ～ 3 Mbps（規定値）	
伝送方式	FHSS 方式	
使用無線チャンネル	1 ～ 79チャンネル	
RF周波数帯域	2.402 GHz ～ 2.48 GHz	
対応プロファイル	• A2DP（SinkおよびSource） • BIP（ImagePushおよびRemCam） • FAX（DT） • HFP（AG） • HSP（AG） • OPP（ClientおよびServer） • SPP（DevAおよびDevB）	• AVRCP（Target） • DUN（DT） • FTP（ClientおよびServer） • HCRP（Client） • HID（Host） • PAN（GroupおよびUser） • HDP

●導入済みソフトウェア※10

CF-S9/CF-N9/CF-F9シリーズの場合、下記以外は『取扱説明書 基本ガイド』の「仕様」をご覧ください。

- 次のソフトウェアが追加されています。
  Bluetooth Stack for Windows by TOSHIBA
- ワイヤレスWAN搭載モデルの場合は、次のソフトウェアが追加されています。
  - ワイヤレスWAN拡張機能設定ユーティリティ
  - ドコモ コネクションマネージャ
- フラッシュメモリードライブ搭載モデルの場合は、PC情報ポップアップのハードディスクの使い方に関する情報を表示する機能は使えません。

CF-J9シリーズの場合、下記以外は『取扱説明書 基本ガイド』の「仕様」をご覧ください。

- 次のソフトウェアが追加されています。
  - Bluetooth Stack for Windows by TOSHIBA
  - Windows XP Mode：（スタート）-[すべてのプログラム]-[Windows Virtual PC]-[Windows XP Mode]をクリックしてセットアップしてください。詳しくは、『操作マニュアル』「（アプリケーションソフト）」の「Windows XP Mode」をご覧ください。
    アプリケーションソフトの動作環境やWindows 7への対応状況については、アプリケーションソフトのメーカーにお問い合わせください。
    Windows XP Modeは、Windows XPが持つすべての機能や性能を保証するものではありません。
- 次のソフトウェアがインストールされていません。
  リカバリーディスク作成ユーティリティ
- ワイヤレスWAN 搭載モデルの場合は、次のソフトウェアが追加されています。
  - ワイヤレスWAN 拡張機能設定ユーティリティ
  - ドコモ コネクションマネージャ
- フラッシュメモリードライブ搭載モデルの場合は、PC情報ポップアップのハードディスクの使い方に関する情報を表示する機能は使えません。

仕様

※1 インテル® アクティブ･マネジメント･テクノロジー（インテル® AMT）の機能をお使いになるには、セットアップユーティリティの[AMT設定]で設定が必要です（➡『取扱説明書 基本ガイド』「セットアップユーティリティ」)。また、別途管理アプリケーションソフトが必要になります。

※2 1 MB＝1,048,576バイト。1 GB＝1,073,741,824バイト。

※3 メインメモリーと合わせて4 GB以上に増設した場合でも、32ビットOSでは仕様により、実際に使用できるメモリーサイズは小さくなります（3.4 GB ～ 3.5 GB)。

※4 1 MB＝1,000,000バイト。1 GB＝1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGB表示される場合があります。

※5 「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0)」による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境・液晶の輝度・システム設定により変動します。バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効に設定しているときの駆動時間は、無効時の約8割になります。

※6 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

※7 本機の動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。ビデオメモリーのサイズはOSにより割り当てられます。
Windows 7（32 ビット）では、メインメモリーが2 GBの場合は763 MB、メインメモリーが4 GB以上の場合は最大1563 MBになります。

※8 本機と通信するには、W52/W53/W56のいずれかに対応した無線LANアクセスポイントをお使いください。
IEEE802.11n準拠モードで通信するには、本モードに対応した無線LANアクセスポイントが必要です。また、本機および無線LANアクセスポイントの暗号化設定をAESに設定する必要があります。詳しくは無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

※9 容量2 GBまでの当社製SDメモリーカード、容量32 GBまでの当社製SDHCメモリーカード、容量64 GBまでの当社製SDXCメモリーカードの動作を確認済み。
すべてのSD機器との動作を保証するものではありません。

※10 ハードディスクリカバリー機能を使って再インストールすると、インストールするOS（Windows 7（32ビット）またはWindows 7（64ビット)）を選ぶことができます。お買い上げ時にインストールされているOS、ハードディスクリカバリー機能またはリカバリーディスクを使ってインストールしたOSのみサポートします。
CF-N9/CF-J9シリーズの場合、付属のリカバリーディスク（プロダクトリカバリーDVD-ROM）に収録されているソフトウェアの一部は、機種によっては導入されない場合があります。

Windows XP Professionalへのダウングレード権について

Windows 7 ProfessionalはMicrosoft社よりWindows XP Professionalへのダウングレード権が与えられています。Windows XPにダウングレードするには、Windows XP Professionalのインストールメディアが必要になります。（本機のWindows 7 Professionalは、Windows XP Modeを使うことができ、Windows 7上でWindows XPを実行することができます。)

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理は…

■「マイレッツ倶楽部修理受付デスク」へ
ご相談ください

その他のお問い合わせは…

■「お客様ご相談センター」へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

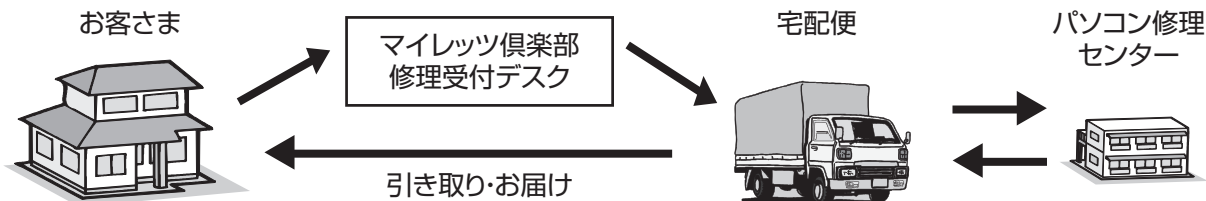
販売店名	
電　話	（　　　　）　　－
お買い上げ日	年　月　日

●**海外での使用について**

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
なお、当社では海外での修理サポートを一部の地域（アメリカ、ヨーロッパの25か国）で実施しております。本サービスを利用される場合、出国前に下記URLで詳細を確認し、事前に登録をお願いいたします。
ただし、マイレッツ倶楽部でカスタマイズを行ったモデルは、海外修理サービス対象外となります。
http://askpc.panasonic.co.jp/r/global/index.html

This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるとき

『取扱説明書 基本ガイド』の「このパソコンにトラブルがあったときは」および画面で見る『困ったときのQ&A』に従ってご確認の後、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、マイレッツ倶楽部修理受付デスクへご連絡ください。
本製品は、当社指定の宅配業者が専用梱包箱を持ってパソコン修理品の引き取りにお伺いし、修理が完了後にお手元までお届けする、早くて便利な修理サービスを実施しております。

付属の『修理依頼表』に依頼内容をご記入のうえ、修理されるパソコンに添付してください。
『修理依頼表』がない場合はお買い上げ日と次の内容をご連絡ください。

- ●製品名　パーソナルコンピューター
- ●品　番　CF-
- ●故障の内容（できるだけ具体的に）
- ●ハードディスク内のデータのバックアップおよびそのデータの消去状況
- ●ハードディスクの初期化への同意
- ●有償修理のお客さまへ（無料修理のお客さまは不要です）：修理限度額の有無
- ●WiMAX搭載モデルをお使いのお客さまへ：WiMAXのご契約状況とWiMAX通信サービス提供会社さまへの連絡状況

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってマイレッツ倶楽部修理受付デスクが修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご準備いただき、マイレッツ倶楽部修理受付デスクにご相談ください。また、引き取り修理の送料は当社が負担させていただきます。**

保証期間：お買い上げ日から本体1年間［ただし、バッテリーパックおよびCF-J9シリーズのジャケットは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。］

保証とアフターサービス（よくお読みください）

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
送　料	修理品を引き取り、お届けする費用 引き取り修理の送料はお客さまのご負担となります。

※補修用性能部品の保有期間 6年
当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

お問い合わせの際は、機種品番をお伝えください

機種品番は本体底面（Panasonicロゴマークの下）に記載されています。

下の欄にあらかじめ控えておくと便利です。

C	F	–								

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://askpc.panasonic.co.jp/index.html

●修理に関するご相談は……………………

マイレッツ倶楽部修理受付デスク

電話番号　**06-6904-6571**

受付時間：365日　9時～20時

URL http://www.mylets.jp/

●使い方・お手入れなどのご相談は…

パナソニックパソコンお客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電　話　フリーダイヤル（携帯・PHS OK）　**0120-873029**（パナソニック）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※発信者番号通知のご協力をお願いいたします。
非通知に設定されている場合は「186-0120-873029」におかけください（はじめに「186」をダイヤル）。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合（発信者番号を非通知でお電話いただく場合を含む）は
(06)6905-5067

ＦＡＸ　**(06)6905-5079**

365日／受付9時～20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

※ 買い物相談、商品のご注文、配送手続き、支払い方法などに関するお問い合わせ先は下記のとおりです。

マイレッツ倶楽部カスタマーデスク

電話番号　**03-3436-4583**

営業時間　10:00～18:00
（土日祝日および年末年始、お盆休みを除く）

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

（2010年10月1日現在）

※ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】
パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客さまの個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客さまの個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パソコンを廃棄または譲渡するときには、パソコン内に記録されているお客さまの重要なデータが流出するというトラブルを回避するために、必ずデータ消去を行ってください。データ消去の手順については、『取扱説明書 基本ガイド』の「本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する」をご覧ください。

本機を廃棄・譲渡する際のデータの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。
●パナソニックのWebページ
（http://panasonic.biz/pc/recycle/product_recycle/data_delete_home.html）
●パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック））

家庭用パソコンのリサイクルについて
使用済みになったパソコンを廃棄するときは、下記Webページをご覧ください。
http://panasonic.biz/pc/recycle/product_recycle/home.html

消耗品・有寿命部品について

本機の部品は、使用しているうちに少しずつ劣化・摩耗します。また、一部の部品の劣化・摩耗が原因で、製品としての性能が十分に発揮されない場合があります。本機を長く、安全に使用していただくためには、劣化・摩耗した部品を交換することが必要です。当社では、劣化・摩耗の進み方の違いによって、部品を消耗品と有寿命部品に分類して扱っています。

種類	部品	備考
消耗品	バッテリーパック （CF-J9シリーズのみ） ジャケット	• お客さまご自身で購入し、交換していただく部品です。 • 保証期間内でも有償です。
有寿命部品	ハードディスクドライブ フラッシュメモリードライブ LCD（液晶ディスプレイ） キーボード ACアダプター リチウム電池 （CD/DVDドライブ搭載モデルのみ） スーパーマルチドライブ	• 修理による再生ができない場合（部品の寿命）に交換する部品です。 • 保証期間内の修理は無償ですが、部品の寿命による交換は、有償になる場合があります。 ※ 有寿命部品の交換の目安は、事務室で8時間/1日、250日/1年の使用で約5年です。ただし、昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

日本国内でBluetoothをお使いになる場合のお願い

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

CF-S9/CF-N9/CF-J9シリーズの場合

2.4FH1

この機器が、2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する周波数ホッピング（FH）方式の無線装置で、干渉距離が約10 mであることを意味します。

CF-F9シリーズの場合

2.4FH8

この機器が、2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する周波数ホッピング（FH）方式の無線装置で、干渉距離が約80 mであることを意味します。

25-J-3-1

● Bluetoothは、その権利者が所有している商標であり、パナソニック株式会社はライセンスに基づき使用しています。